

きれいな海になあれ

香川県 桑山小学校 3年 森 虎太郎

ぼくのおばあちゃんは、海がある町に住んでいます。ぼくが、おばあちゃんの家に行くときには、ピカピカと光っている海を車の中から見ながら行きます。いつも見る海はとってもきれいです。

夏休みにお母さんに、

「海を見にいこう。」

と言われたので、ぼくはお母さんと弟と、わくわくしながら見に行きました。海に着くと、ぼくはすごくびっくりしました。

きれいだと思っていた海には、たくさんのごみがありました。

ペットボトルやあきかん、くつにマンガの本。自てん車のタイヤや、ひびわれたガラスにびん。ボロボロになったふくや、オーブントースターまですてられていました。ぼくは、いったいだれがすてたんだろうと思いました。たくさんのごみを見て、これはひどいなあと思いました。

ぼくは、持っていたナイロンぶくろにごみを拾おうとおもいました。ひろいはじめたら、ぼくの持っていたふくろは、すぐにごみでいっぱいになりました。お母さんと弟もいっしょに拾ったけれど、ごみはまだまだのこっていました。ぼくは、ペットボトルやあきかんの中にたまった水をすてながら、いっしょうけんめい集めました。その日は、とっても暑くて、ぼくはあせをいっぱいかきました。弟もあせをいっぱいかいていたけれど、ごみを拾うのをやめようと言わなかったので、すごいなあと思いました。ぼくも弟に負けないようにがんばりました。

ぼくは、ごみを拾いながら、みんな海をごみすて場と思っているのかなあと、とても悲しくなりました。全部のごみを拾うのに、何まいごみぶくろがいるのかなあと思いました。

ぼくが、ごみを拾ったところは、ほんの少しだけ、きれいになりました。でもぼくは、もっと海をきれいにしたいなあと思いました。ごみをすてた人たちにも、ごみでいっぱいになった海を見てほしいと思いました。ごみ拾いもしてほしいなあと思いました。そうしたらもうぜったいにごみはすてないと思います。

海がぴかぴかになったら、海に住んでいる魚や貝たちもうれしくて、もっともっと元気になると思います。そうなったら、ぼくはとってもうれしいです。

ごみは、みんながきちんとかたづけをしたら、きっとへらせると思います。ぼくが、この夏に海で拾ったごみは少しだったけれど、少しでも海がきれいになって、とっても気持ちよかったです。

ぼくは、おばあちゃんのスんでいる町の海が、前よりももっとすきになりました。今度また海を見に行ったときに、ごみがあったらまた拾いたいと思います。ごみがなくなったらぼくはとってもうれしいです。